

4日

《「住みたい田舎ランキング」浪江町2部門で1位》

宝島社（東京都）が発行した月刊誌「田舎暮らしの本2月号」の2024年版「住みたい田舎ベストランキング」で、浪江町が人口1万人未満の町の総合と若者世代・単身者の2部門で1位に輝いた。水素エネルギーの地産地消や福島国際研究教育機構の立地など、新しい技術にも挑戦していることなどが評価された。

9日

《2023年倒産件数79件》

帝国データバンク福島支店が発表した2023年の県内企業倒産状況によると、負債金額1,000万円以上で法的整理による倒産件数は79件（前年比12件増）、負債総額は136億9,100万円（同40億700万円増）だった。

11日

《2030年度までにバス利用者8.3%増へ》

県は2030年度までに県内の路線バスと高速バスの年間利用者数を2022年度比8.3%増の1,614万5千人にするのを目標に各種施策を展開する。県がバス利用の目標値を設定するのは初めてとなる。デジタルを活用して情報発信や現状分析を進め、利用増につなげる。

16日

《福島空港、4年ぶり台湾定期便》

福島空港と台湾を結ぶ定期チャーター便が4年ぶりに就航した。台湾からの初便には、定員の9割超の163人が搭乗し、福島空港に降り立った。3月末には、福島と台湾を結ぶ国際定期便が新規就航する予定となっており、人の行き来が加速し、交流が一層活発化すると期待される。

《2023年新車登録12.9%増》

福島運輸支局が発表した2023年の県内新車登録・届け出台数は、軽自動車などを含む総数が76,800台（前年比12.9%増）と4年ぶりに増加した。同局は、新型コロナウイルスの5類移行や半導体の供給安定を背景にメーカーが生産台数を増やしたことが数字を押し上げたと分析している。

18日

《パナソニック福島工場、2025年5月末閉鎖》

パナソニックホールディングス傘下でIT事業などを担うパナソニックコネクト（東京都）が、福島工場（福島市）を2025年5月末で閉鎖すると発表した。建物の老朽化の影響から、工場の安全性を確保することが困難と判断した。

23日

《2023年工場立地件数44件》

県が発表した2023年の県内工場立地状況によると、新增設の届け出件数（敷地面積1,000㎡以上）は44件（前年比9件減）、雇用計画人員は1,019人（同114人増）だった。企業が物価高騰や新型コロナウイルスの影響を注視して設備投資に慎重になった上半期（16件）の実績が影響したとみられる。

26日

《外国人労働者数、過去最多》

福島労働局が発表した県内外国人雇用状況（2023年10月末現在）によると、外国人労働者数は過去最多11,987人（前年同期比20.7%増）となり、初めて1万人を上回った。同局によると、人手不足や外国人技能実習制度の見直しにより、今後も県内の外国人労働者が増える見通し。

30日

《「転出超過」全国4番目》

総務省が公表した2023年の人口移動報告によると、本県からの転出者数は30,805人（前年比571人減）、本県への転入者数は24,226人（同417人減）だった。転出者が転入者を上回る「転出超過」は6,579人で、47都道府県のうち4番目に高かった。

《2023年沿岸水揚げ量18%増》

県漁連が公表した2023年の県内沿岸漁業の水揚げ量（速報値）は、6,530 tとなり、2022年の5,535 t（速報値）から18%増加した。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故以降で最多を更新した。昨年8月に処理水の海洋放出が始まったが影響は少なく、水揚げ量は順調に推移している。